

(別紙4(2))

事業所名 : 認知症対応型共同生活介護事業所あかゆら

作成日 : 平成 25 年 2 月 16 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	事故報告や外部評価等を報告し委員から幅広い意見や助言を求めケアに寄与することを期待すると共に2事業所合同の会議の場合は各々の利用者や家族もメンバーとして参加し意見交換等を期待したい	①運営推進会議への利用者の参加者は小規模利用者に限らず、グループホーム利用者の参加も促す。 ②委員会開催時に事故報告を行い意見や助言を求める。	①グループホーム利用者の委員会への参加は当日の利用者の健康状態を確認した上で参加者を決め会議出席を促す。 ②サービス提供報告や事故報告を行っているが、今後はヒヤリハットも含め報告を行う。	6～12ヶ月
2	35 (13)	消防署の協力を得た訓練を実施し、自主訓練時の課題等の解決に取り組むよう努められたい	年2回以上避難訓練を行っているが、そのうち1回以上は専門家立ち会いの避難訓練を実施する。	①関係機関との調整連携を図り消防署立ち会いのもと避難訓練を実施する。 ②介護長寿課へ働きかけ消防署への訓練参加を依頼する。 (24年度10月訓練時には消防署へ依頼済みだったが、消防署の都合により訓練には立ち会っていない。)	6～12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。